

理科体験などに 児童300人が参加

ダヴィンチマスターズ

遊びながら学ぶことで、子供たちにさまざまな力をつけてもらおうという「第12回ダヴィンチマスターズ」が3日、大阪大学吹田キャンパス(吹田市)で開催された。事前応募による小学1〜3年生の約300人が参加し、理科体験やアートなどに挑戦した。

2020年の教育改革



自分だけの絵本づくりにチャレンジする子供たち 吹田市

で、「主体的、対話的で深い学び」がより重視されることから、アクティブ・ラーニング(体験型学習)を通して課題解決力を身につけてもらうのが狙い。一般社団法人ダヴィンチマスターズ事務局が東京を中心に開催していたが、大阪では初開催となった。

この日は4コースを設定。理科系の体験として阪大大学院理学研究科の「タコの体のふしぎ タコの解剖」やデジタル顕微鏡を使った「大きくくして見よう！」などを実施。またアートを使った帝塚山大学現代生活学部の徳永加代研究室による絵本づくり体験などが開かれ、子供たちが思い思いのコースで楽しんだ。

食べ物テーマにした絵本づくりにチャレンジした女兒(8)は「いつも絵を描いているけど、絵と一緒に言葉を考えるのも楽しかった」と話した。